

坂東会

No.139

令和5年5月1日号

八代目所蔵の

浮世絵鑑賞

「四季詠寄三大字」

歌川豊国画（初代）



画像提供：国立劇場

文化十（一八二三年三月、江戸中村座で三代目坂東三津五郎が

演じた「四季詠寄三大字」から鯉売りを描いた作品です。坂東

流では「松魚売」として曲が残っており、かつては師範試験の課

題曲でもありました。題に「十二月の内卯月」とあるように、

十二月月の変化舞踊のうち四月にあたる舞踊で、番付には「四月

初鯉をいさみ商人」と記されています。

花かつみ模様の着物に鉢巻、鯉の入った盤台を天秤棒で担ぐ棒

手振りの魚屋です。見上げる視線の先、空を横切る鳥は、初夏の

訪れを象徴するホトトギス。詞章にもある「てっぺんかけて」は、

ホトトギスの鳴き声「てっぺんかけたか」をあらわしています。

「目には青葉山ほととぎす初鯉」と句にも読まれたように、新

緑の時期、初物を好んだ江戸っ子たちは

競って初鯉を求めたといえます。河岸に

上がった鯉をいち早く市中に運ぶ、威勢の

よい商人たち。本曲は、勇み肌で鉄火な江

戸っ子の威勢のよさが見どころですが、そ

れは豊国が描く三代目のすつきりとした

鯉背な立ち姿からもうかがえます。

なお、落款「豊国画」の右側、四角の中に

鶴の模様と「鶴金」とあるのは、本作の版

元、鶴屋金助の屋号です。また、左側の〇の

中に極の印は、極印といい、出版を許可さ

れたことを示す検閲済みの印です。

（根岸美佳・学芸員）

*八代目家元が国立劇場へ寄贈した浮世絵は約一七〇点以上にのぼり、その中から主に踊りに関するものを取り上げ鑑賞します。

生涯忘れることのできない第五十回坂東会総会

家元 坂東 巳之助



長らく続いて来た新型コロナウイルスによる混乱もずいぶんと落ち着き、以前の通りとはいかないまでも日々の生活もだいぶ彩りを取り戻してきたように感じます。

とはいえ舞台や映像の仕事においては公演中止・撮影中断などのリスクは大きく、マスクの着用が任意となった三月十三日以後も、本番時以外はマスクを着用する事が求められたり、不要不急な外出・会食は控えるよう求められるような状況ではありますが……。

そんな中、本当に久しぶりに帝国ホテルにおいて出席者を限定せず、しかも会食つきの坂東会総会を開催できましたことは、

組織としても個人的にも非常に嬉しい出来事でした。

当日にも申しましたが、色々と挨拶の言葉や頭の中で考えていたにも関わらず壇上から見た数年ぶりの「いつもの景色」に言葉を失ってしまい、「嬉しいです」しか出てこなかったことは生涯忘れないでしょう。

この数年、誰も経験したことのない困難に世界中の人たちが立ち向かって来ました。その戦いの最中に旅立ってしまった、限られた人だけの寂しいお別れになってしまった人たちもたくさんいました。

長らく坂東会を、父を、そして私を支えてきてくれた大叔母・寿子もその一人です。百周年記念舞踊会で大きな大きな舞台姿と笑顔の涙を見せてくれて、まさか半年も経たぬうちに逝ってしまうとは思ってもみませんでした。

戦いの終わり……とまでは言えないまでも、新たな始まりの一步とも言える先日の総会のあの景色を見てもらえなかったことが本当に悔やまれます。

しかし、私たちは前に進まねばなりません。先人たちが守ってきたものを受け継ぎ

同じように守って行くために、あの日壇上に立って会場を見渡した時に胸に湧き上がった「希望」と「未来」という四文字を忘れずに、私は進んでいこうと思います。

まずは、先日はまだ開催できなかった総会恒例、お馴染みの「お楽しみ抽選会」で皆様が一喜一憂する姿を壇上から眺める、そんなそう遠くないであろう未来を楽しみに頑張る参ります。



彩奥様、緒兜くん、維真くんもご出席

ご報告

坂東錦寿さんが特別功労賞に表彰されました

福岡県在住で、九州支部委員である坂東錦寿さんが福岡県文化団体連合会から特別功労賞に表彰されました。この賞は地域文化の振興に貢献した方に贈られるものです。錦寿さんは二代目三津次さんの門下で、昭和四十一年に名取。後進の育成に貢献するほか、日本舞踊協会福岡県支部の支部長も務めています。おめでとうございます。



『芸の伝承ビデオ上映会』のご報告

貴重な映像に大きなため息がもれる

映像を通して坂東流の芸に触れるビデオ上映会。第4回を令和4年12月18日に、第5回を令和5年3月25日に開催しました。

第4回で取り上げた作品は常磐津『旅雀』、清元『矢矧の里』。坂東会創立100周年記念舞踊会で『旅雀』を踊られた久三之助さんからは演者として感じた『旅雀』を、利太郎さんからは後見の立場から『矢矧の里』についてお話いただき鑑賞しました。また、ビデオをご提供くださった三津二郎先生からは「お稽古に励んでください」とのメッセージが高知から届き、紹介しました。



第5回は常磐津『どんつく』と常磐津『俳諧師』の2作品を鑑賞しました。『どんつく』は平成5年日本舞踊協会公演の映像で、役柄も年齢もさまざまな役を女性だけの座組で踊り「坂東流ここにあり」といった舞台でした。どんつくを踊られた勝友先生からは、九代目、十代目と『どんつく』との思い出などを語っていただきました。



三津蔵お師匠さんの『俳諧師』は、「素晴らしすぎて言葉がありません」と勝友先生がおっしゃった通り、大変貴重な映像を鑑賞し、会場からは大きなため息がもれました。

第6回 ビデオ上映会のお知らせ

10月を予定しております。

詳細が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

ビデオ上映会は、インターネットでは見ることができない貴重な映像を上映いたします。会員の皆さまに紹介したい貴重なビデオをお持ちの方はぜひ、事務所までご一報いただければ幸いです。(企画部)

青年部活動報告

(令和4年4月～令和5年3月)

第65回「講習会」

開催日／令和4年11月20日(日)
場所／Zoomオンライン開催
内容／坂東会創立100周年記念舞踊会の感想共有
参加人数／15名

第66回「総会」

開催日／令和5年3月11日(土)
場所／Zoomオンライン開催
内容／グループワーキング発表「江戸小紋～染体験教室～」(映小菊、以緒莉、信兎音)・「四季で感じる和文化」(三免晴、いち福、彦祥三)、来期活動について



「和文化はぐくみプロジェクト」

青年部OBと現役部員による同プロジェクトの活動を下記の通り行いました。

- 社会文化フォーラム 日本の伝統文化にふれる～日本舞踊・坂東流／留学生支援企業協力推進協会(令和4年6月18日)
- 浴衣の着付け／世田谷区立桜木中学校(7月14日)、北区志茂子ども交流館(8月4日)
- 交換留学生日本文化体験／北区立稲付中学校(令和5年2月14日)
- 風呂敷／世田谷区立桜木中学校(3月16日)

八代目の三女であり、副会長の坂東寿子先生が令和五年一月二六日、八六歳でご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

歴代の家元をお支えになり、そのお立場から坂東会に多大なるお力添え、ご指導を賜りました。坂東会創立一〇〇周年記念舞踊会の成功を願われ、全身全霊で向かわれたお姿は、これからの坂東流を担う会員の一人ひとりの心に深く響いていることと思います。

三代智さん、三津兵衛先生、坂東五郎さんにお言葉を寄せていただきました。



坂東寿子先生安らかに

大和楽『雪の道』(平成10年4月「寿子リサイタル」)。花柳芳次郎氏(当時)と共演

感謝申し上げます

坂東三代智

令和五年一月二六日、朝のお電話。

(寿子先生ご退院かしら、嬉しい)と巡る頭と心。聞えてきたのは、お亡くなりになりましたのお知らせでした。

前日には、ご親族の方々と代わるがわるのお話しをされたと伺っておりましたのに……。

充分なお話しもでき、坂東会創立一〇〇周年記念舞踊会の二日間、四公演を準備から、すべてに目を通して、やり尽くしたとの満足そうな、美しいお顔で逝ってしまわれました。

舞踊家(役者)であり、料理上手な家庭人であり、読書家でスポーツ好きな、豪快な師匠でした。

何度か役者さんへの振り渡しにご一緒させていただいた時「役者はね、役の性根(心)、意味をしっかりと身体に入れて、後は、自分の表現なのよ」とお話ししてくださいました。

素晴らしい師匠の舞台の数々の内、紙面上、一曲を挙げさせていただくならば、平成十年四月「寿子リサイタル」で故花柳芳次郎師(当時)と踊られた大和楽『雪の道』。観客は演者に心をついにさせられ、舞台上に釘付けとなり、終演後は暫し席から立ち上がる事ができない状態。辺りからは、すすり泣く声も……。「踊りで、心と状況を表す」まさしくそのものでした。

そのようなお師匠様の「心」を宝として、これからも精進して参りたいと思っております。

寿子先生、ありがとうございます。



坂東会創立100周年記念舞踏会で踊られた長唄『鶴亀』



令和3年7月のビデオ上映会『京鹿子娘道成寺』で、手の結び方を教えてくださる寿子先生

寿子先生の思い出

坂東三津兵衛

この度、寿子先生の訃報を聞きただ呆然としました。私は十八才で八代目の内弟子として、京都の家に参りました。お宅には八代目ご夫婦、寿子先生、お手伝いさん二人、あとはお弟子さん達です。寿子先生は、毎月ご自宅で自分のお弟子さんの稽古をしていらっしやいました。

私も八代目に「寿子に稽古してもらいなさい」と言っていただけ、先生に稽古をしていただくことになりました。

先生は大阪の南の見番でもお稽古していらっしやいました。私もお供をして京阪電車で大阪まで通いました。その電車の中では、先生は座席に座らず立ったまま、吊革にもつかまりません。不思議に思い、たずねてみました。先生がおっしゃるには「バランスを取る稽古よー」私は、上に立つ人はこのように努力を惜しまないのだと本当に勉強になりました。

また、料理も上手で特にカニのクリームコロッケが得意。八代目が「寿子のクリームコロッケ、これは商売になる」と大変なお喜びで召し上がられていたこと、思い出します。

まだまだ思い出は尽きません。先生との思い出をこれからも大切にしていきたいです。

先生のご冥福をお祈りいたします。



左から九代目御新造の喜子奥様、三津兵衛先生、寿子先生

寿子奥様のご冥福を心よりお祈り申し上げます

坂東五郎

私縁あつて故八代目坂東三津五郎師の門に入り五郎という役者名をいただき、舞台人としての基礎を仕込まれ、また歴代の御新造さんには修業とは何たるかを教えていただきました。

大和屋一筋に生きること早や六十年。夢の如く流れ「光陰矢の如し」を実感しております。

寿子奥様には、古典舞踊の女形における品と格の奥深さを教えていただき、また人生の変わり目、節目で、私が思い悩み行き詰った時、公私にわたりご相談に乗っていただいた、心の恩師でもありました。

その折、寿子奥様には、言葉少なめながら、心の奥底に響く、的を得た、揺るぎのないお言葉にてご指導を賜りました。

そのお蔭にて、私、長き人生を歩むことができ、言葉では言い尽くせない感謝の念でいっぱいです。ありがとうございます。

「親子は一世、夫婦は二世、主従は三世」。

寿子奥様には、そちらの世界にて、しばし、お待ちください。私ふたたびお目にかかり、かならずお供をさせていただきます。



『京鹿子娘道成寺』(平成26年3月)。後見は坂東五郎さん

永く相談役として坂東会を支えてこられた坂東三千丸先生が、令和四年九月五日、九二歳でご逝去されました。

坂東流の重鎮三津加先生の一弟子として師事し、神田猿樂町から神楽坂へ稽古場を移され、後進の育成にもご尽力されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

坂東三千丸先生を偲んで



三津加先生振り付けの『豊後道成寺』(平成16年国立劇場)。この写真は三千丸先生のお気に入りの1枚だった

三千丸先生を想う

坂東 幸

三千丸先生に初めてお稽古をしていただいたのは、お舞初めに孫弟子の私がお稽古場に伺ったのが初めてでした。その後、三千丸先生の弟子となり、五十年以上となりました。

お稽古では、一つひとつ振りの意味や身体の使い方など、丁寧に教えていただきました。なかなか覚えられず、身体の使い方が上手くできないと、何度も何度も繰り返し根気強く、踊れるようになるまで稽古してくださいました。

おさらい会の時には、出る前に仕上がっている姿を見て「大丈夫」と声をかけてくださいました。舞台の袖で三千丸先生が見てくださることで、安心して踊ることができました。

終わった後には、三千丸先生がにこっとしてくださることがとてもうれしかったです。

お稽古場には、『鶯娘』を教えていただくと、後ろから前に出るまでの初めの動きだけで何度も繰り返しされるといふ言い伝えがあります。三千丸先生が大切にされている踊りの一つだからのことですが、私たち弟子は、時間がかかっても教わりたい演目でした。

お稽古では厳しさもありましたが、お稽古が終わるといろいろと話しを聞いてくださり三千丸先生とお話することも、踊りを教わると同様にとても楽しかった時間です。

いつも私たち弟子のことを思ってくださいさり、笑顔で接してくださいました。

坂東流たすけあい チャリティー舞踊会を 開催しました

No.139 令和5年5月1日

チャリティー舞踊会を令和4年12月3日(土)、浅草公会堂にて開催しました。今回の公演において寄付金の総額が2,000万円を超え、「社会福祉法人 読売光と愛の事業団」より感謝状を賜りました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。



**チャリティー舞踊会に
出演して** 坂東三千梅

かねがね私は、他流の萩江節『山姥』を見ずるたびに、当流も長唄、清元、常磐津の『山姥』に加えて、筋立ては異なれど萩江節『山姥』が加わることを願っていました。

そこで、あらゆる手はずを経て、八代目家元の振り付けによる萩江節『山姥』を振り起すに至りました。およそ六十年もの間眠っていた作品です。

仕立ては音に付かず、山姥の女心を匂うがごとく醸し出し、儂さ、哀れさを表現するように作られた作風に敬服するばかりです。

監修くださいました寿子師はさすが、御息女。八代目家元の振りの特徴を驚くほど熟知されていらして、ご丁寧なるご指導を賜りました。それは筆舌に尽くしがたい思い出となりました。

八代目三津五郎振付萩江節『山姥』の保管を坂東会事務所へお願いした折、「チャリティー舞踊会にての披露を」と、ご推奨くださいました役員の方々に感謝申し上げます。

「チャリティー舞踊会に出演して」

坂東三千梅

舞台上に立てる喜び

坂東一十三



5回連続出演で表彰

神田猿楽町にありました三千丸先生のお稽古場(後に神楽坂に移転)に通わせていただき、半世紀以上の月日が流れ、昨年九月に師匠は彼岸に旅立たれました。日本舞踊のイロハも知らなかった私が、これまで続けてこられたことは三千丸先生のお陰と感謝いたしております。

私の人生、決して楽しいことばかりではありませんでしたが、先生のもとでお稽古させていただいた時間は宝物です。お舞初め、浴衣ざらいに三津加先生と一門の諸先生方をお招きしてのイベント、三津加先生のご指導を賜るため、祐天寺駅に降り立った時の足の震え、今となつてはすべて良い思い出でございます。

三千丸先生は、ご自身の最後を感じられ、姉弟子の千扇さんと私が踊り続けられるために、三津映先生のご指導をうけられるよう「きちんと勉強していらつしやい」と送り出していただきました。私達を心良く受け入れてくださった三津映先生には、本当に感謝致しております。踊れることがただただ幸せです。こんな私を応援してくださる仲間や家族に支えられ、身体の事情が許す限り、舞台上に立てる喜びを楽しんでいきたいと思っております。

イケメンで再登場!!

坂東弘二郎



「待ってました!」そう言っていただけでしようか。久々の出演、今回ももちろんチョンマゲ「お祭り」の頭です。

当日の朝、仏壇の両親と、稽古を始めるきっかけをくれた伯母の三人に手を合わせ、いざ浅草公会堂へ。会場に着き三階席まである客席を見上げ「ここで踊るのかあ」と、少しの緊張と板の上に立てる喜びを感じました。拵えができて鏡の前へ。「なかなかのイケ男」と自賛。

さあ、いよいよ本番! 柀が「チョン、浅葱幕が振り落とされ客席からは大きな拍手、緊張がヤル気へと変わった瞬間でした。

無事に踊りきり、最後の花道は気分良く揚幕へ入りました。鳥屋口では、からの寛之介さん扇弘さんに迎えられ、顔を見た瞬間ホッとした気持ちと達成感を味わいました。お二人には、稽古で繰り返し繰り返し合わせていた「三人の息が良く合っていた」と褒めていただけなのも三人で頑張った結果です。「努力は裏切らない」改めてそう思えた一日でした。

最後に一言、「十代目のお家元、弘二郎は全力で踊りきりましたよ!」



三月四日(土)、坂東会定時会員総会を帝国ホテル富士の間で開催しました。コロナウイルス感染症拡大の影響で四七〇四九回は会長と役員のみで行ってきましたが、第五十回となる今回は会員一同が集い開催することができました。「こうして再び総会で集まることができ、皆さんとお食事できるなんて夢のよう！」との声も聞かれ、再会を喜び合う姿が多く見られました。

第50回 総会を開催しました

喜びのうちにも、寿子先生がいらしたらのお言葉が

「いやあ、本当にこの景色久しぶりです。うれしい思いでいっぱいです」。二〇六名の会員を前に、登壇された家元のこうしたお言葉で始まった坂東会定時総会。「いろいろ話すことを考えてきたのですが、言葉が失ってしまいました。副会長であった寿子先生にこの景色を見せてあげることができなかったことが、残念でなりません」と述べられ、出席者一同感無量、胸が熱くなりました。そして寿子先生、坂東会相談役の梢先生、三千丸先生をはじめとした、三十一名の物故



者の方たちに黙祷。ご冥福を祈りました。

続いて、坂東会創立二〇〇周年記念舞踊会が二年の延期を経て無事開催されたことに言及され、「二〇〇周年は一つのゴールであると同時に、スタートでもあると思っています。これからの二〇〇年を皆さんと共に創って行きたい」と開会のご挨拶を締めくくりました。

副会長は当面の間空席として坂東会を運営

総会を始めるにあたり、「副会長については当面の間は不在として、坂東会の運営を進めていく」との発表があり、全会一致で令和四年度の活動報告、令和五年度の事業



計画、令和四年度決算報告へ進みました。

新名取・師範合格者の紹介は、平成三十二年三月九日から令和四年三月二六日までの試験合格者四十名が壇上に。家元から一人ひとり名前を呼ばれ、大きな拍手で迎えられました。

お楽しみの懇親会に先立ち、来賓の清水直様からはご祝辞を、そしてご子息の修様に「ご発声をいただき乾杯となりました。恒例の福引にかわり、坂東会創立一〇〇周年記念舞踊会を写真で振り返るスライドを流し、和やかなうちに閉会を迎えました。



登壇を待つ新名取・新師範の皆さん

新師範・新名取紹介

二〇一九年三月に花友というお名前をいただき、九月の試験で師範となりました。

約半年間で北州・藤娘をお稽古し師範試験を受けることができたのは、以津緒先生の大変厳しくも愛あるご指導や、学業とお稽古の両立を支えてくれた母を始めとする周りの方々のサポートのおかげであり、とても恵まれた環境に感謝の思いでいっぱいです。

私が日本舞踊を習い始めたきっかけは九歳の頃、母に連れられお稽古場の見学に行った際に可愛い浴衣を着せていただいたことです。最初はそんな動機でしたがお稽古を続けていくうちに、一つひとつの振りには意味があったり、役によって細かな仕草の違いが出たりなど踊りの楽しさを知り、もつといろいろな演目に挑戦した

総会に出席して 師範名取であることを実感 坂東花友以



いと思うようになりました。

今回初めて総会に出席させていただき師範名取であることを一層実感しました。これからは師範として、演目の役や歌詞の意味を理解し踊りで表現できるように、さらにお稽古に励んでいきたいと思えます。

振りを丁寧な、 腰の落ち着いた踊りを踊りたい 坂東映珀



卒業を控えた小学校六年生の二月にコロナで学校が休校となりました。卒業式は行われたものの、練習してきた合唱などはありませんでした。中学校に入學したのは三カ月後の六月で、その間にも楽しみにしていた吹奏楽の発表会が中止となり、目標がなくなってしまうました。

そのような時、先生から名取試験に挑戦してみないかということを提案され、名取資格を取るこ

とを目標にしました。お家元に練習の成果をお見せして合格をいただいた時は、目標を達成できてとてもうれしかったのを覚えています。その帰り道、浅草寺で引いたおみくじは大凶でしたが、こんなにもうれしい日が大凶ならば、この先毎日楽しいだろうなと思えました。

坂東会からお手紙をいただき、総会で新名取の紹介があると初めて知った時には、改めて認められた気持ちになりました。当日はとても緊張していましたが、同じテーブルの新名取の皆さんが優しく笑顔で話しかけてくださったので楽しくお話をすることができました。壇上上がり芸名を呼ばれた時は、いつもと違う名前と呼ばれることが新鮮でした。うまく反応できるか心配でしたが、ちゃんと一歩前にお辞儀をすることができたのでよかったです。今回総会に参加し、今までは日本舞踊の芸名を持つたという感覚でしたが、坂東会の一員になったという意識が変わりました。今はお稽古で『花かつみ』を練習しています。一つひとつの振りを丁寧に腰の落ち着いた踊りを踊りたいです。

坂東会のできごと

令和4年9月～令和5年3月

坂東会は次の100年に向かって歩み始めました。100周年記念舞踊会の2週間後には、チャリティー舞踊会のかつら合わせ。また、各支部開催のチャリティー舞踊会や105周年記念舞踊会等について活発に会議を重ねています。

九月二六日(月)

【理事会】

- 一〇〇周年記念舞踊会の反省
- チャリティー舞踊会

かつら合わせ・下濑いの担当割り。

十月三日(月)

- チャリティー舞踊会かつら合わせ(浅草見番)

【合同会議】

- 出席者／久三之助・京弘女・勝規・三千踊・三奈慧・三太映・喜美生・ありかはつ花・寿々風・鷹野
- チャリティー舞踊会

次年度は募集方法を変更する。

十月十三日(木)

- 多磨霊園お墓参り

- 一〇〇周年記念舞踊会開催の報告。

【広報部委員会】

- 会報一三八号初校

十月二二日(金)

【広報部委員会】

- 会報一三八号再校

十月二八日(金)

【広報部委員会】

- 会報一三八号色校及びチャリティー舞踊会出演の手引書作成。

十一月七日(月)

【広報部委員会】

- 会報一三八号発送作業及びチャリティー舞踊会演目解説作成。

十一月十日(木)

【理事会】

- 一〇〇周年記念舞踊会決算報告
- 一〇五周年記念舞踊会

令和七年、京都南座を検討。

チャリティー舞踊会(東京)

支部委員にも出演を依頼する。

- 定時会員総会

通常開催の予定で案内をする。

十一月二二日(月)

- チャリティー下濑い(浅草見番)

十二月三日(土)

- 第五八回坂東流チャリティー舞踊会(浅草公会堂)

十二月九日(金)

【合同会議】

- 出席者／久三之助・蝶・勝規・三千踊・三奈慧・三太映・喜美生・はつ花・鷹野
- ビデオ上映会

企画内容の検討。

- チャリティー舞踊会

反省及び決算報告。当日会場募金は五四、五〇〇円。

- 令和五年度チャリティー舞踊会

十二月五日(火)浅草公会堂に決定。

十二月一八日(日)

- 第四回芸の伝承ビデオ上映会「旅雀」「矢矧の里」(国立劇場伝統芸能情報館)

一月六日(金)

【理事会】

- チャリティー舞踊会
- 若手後見の人選を検討する。

定時会員総会

抽選会の代わりに記念品(清酒)を用意し、催しとして映写を検討。

- 一〇五周年記念舞踊会

開催場所、時期について再検討。

一月二二日(土)

- 名取試験・師範試験曲講習会(祐天寺稽古場)

一月二三日(月)

【企画部委員会】

- ビデオ上映会及び動画配信の打合せ。

一月二六日(木)

- (西日本地区支部員会)於岡山
- 出席者／久三之助・蝶・三孚昭・信知寿・錦寿・三導由・三勇寿・仙章・三喜代・弥余伎女・呂扇・真起文・櫻子・藍乃・雪丸・鷹野
- 一〇五周年記念舞踊会

京都南座での開催案は見送る。令和七・八年に各支部で一〇五周年記念演目を入れた形式でチャリティー舞踊会を開催することを検討する。

- 支部活動
- チャリティー舞踊会及びゆかた会の検討をし、理事会に報告する。
- その他

名取試験・師範試験科目講習会を各支部で開催することを検討する。

一月三十日(月)

【理事会】

- 三信之輔氏提案事項(講習会)
- 企画部で検討(担当/久三之助)。
- 一〇五周年記念舞踊会(東京)

- チャリティー舞踊会と同日開催とする等引続き検討する。
- 事務所所持品の保管
- 所持品増により一室を賃貸する。
- 二月二日(木)
- 坂東寿子副会長のご参儀
- 二月十日(金)
- 出席者／久三之助・友女香寿・蝶・三千踊・三奈慧・三太映・喜美生・ありかはつ花・寿々風・鷹野
- ビデオ上映会
- 第五回は「どんつく」「俳諧師」。今後の告知方法を検討する。
- 定時会員総会
- 新名取・新師範紹介は壇上で行う。懇親会はデイナー形式。
- 【広報部委員会】
- 会報一三九号編集会議
- 二月三日(木)
- 【関西支部委員会】
- 出席者／三勇寿・弥余伎女・呂扇・伊峰・鷹野
- 香組た会
- ゆかた会
- 各関西支部委員は宣伝のため入場券の設置を店舗等に交渉する。
- チャリティー舞踊会
- 令和七年十一月開催、先斗町歌舞練場で検討中。
- 役柄により名取以外の出演も可。
- 一〇五周年記念演目を温子氏に依頼する(地方演奏)。
- 三月四日(土)
- 第五十回坂東会定時会員総会
- 三月五日(日)
- 師範試験・名取試験
- 三月八日(水)
- 【理事会】
- 若手後見について
- 定期的に勉強会を計画する。指導/利太郎氏・久三之助氏。
- 九州チャリティー舞踊会
- 博多座を検討中。
- 三月二五日(土)
- 第五回芸の伝承ビデオ上映会「どんつく」「俳諧師」(国立劇場伝統芸能情報館)
- 三月三十日(木)
- 動画配信「三津之丞を知る! 第一話(後編)」

講習会 上映会



試験曲講習会

講習会の目的は名取試験、師範試験に向けたものですが、勉強のための受講希望者も受け付けています。

■北州・藤娘

師範会員の方対象 ただし師匠と一緒に受講するのであれば名取の方も受講できます。

日時／北州・7月22日(土)午前11時より

藤娘・7月23日(日)午後2時より

場所／祐天寺稽古場(目黒区祐天寺2-15-12)

受講料／北州 10000円、藤娘 5000円(名取受講料各5000円)

講師代表／三津桜

■松の緑

師範会員の方対象です。お弟子さんに名取試験をお考えの師範会員の方はご参加をお勧めします。

日時／7月23日(日)午前11時より

場所／祐天寺稽古場

受講料／5000円

講師代表／以津緒

試験



秋の名取・師範試験

詳しくは事務所までお問い合わせください。

日時／9月9日(土)・10日(日)

会場／家元宅

申し込み締切日／7月末日

※詳細は締め切り後、お知らせします。

チャリティー 舞踊会



第3回西日本チャリティーゆかた会

日時／6月17日(土)

会場／京都先斗町歌舞練場

入場料／10000円

第4回チャリティーゆかた会

日時／7月29日(土)

会場／深川江戸資料館小劇場(江東区白河)

入場料／10000円

●出演者募集

チャリティーゆかた会は、名取だけでなく、一般のお弟子さんも出演することが出来ます。これを機会に芸の精進につなげませんか。時間は約10分(平弟子さんは5分)、出演費は38000円、入場券(10000円)が10枚含まれています。

出演をご希望の方は事務所へお問い合わせください。5月20日締め切り。ただし、番数が揃い次第締め切りとさせていただきます。

※西日本チャリティーゆかた会の申し込みは締め切りました。

舞踊会



会員の舞踊会の情報です。お切符など詳細は会主、または坂東会事務所までお問い合わせください。

■みほし会

日時／5月7日(日)午前11時

会場／浅草公会堂

会主／坂東三穂祥

入場料／無料

■坂東三津時17回忌追善登喜美会

日時／5月13日(土)午前11時30分

会場／江戸川区総合文化センター

会主／坂東登喜美

入場料／無料

■第5回ひばりの会

日時／10月7日(土)

会場／富士市ロゼシアター中ホール

会主／坂東草雲雀

入場料／無料

その他



富士・さくららの修了証の発行

流儀の曲である長唄『富士』、清元『さくら』を習得した方には、修了証を発行します。お申込みの締切日は次の通りです。

締切日／2月10日、6月10日、10月10日

会員専用ページ情報満載!

坂東流ホームページをご活用ください。行事や会員の活動を順次アップしていきます。

坂 東 流 お 揃 い ゆ か た

お揃いのゆかたを着てお稽古に励みましょう。申込方法など詳細は坂東会事務所までお問い合わせください。着用したものは、坂東会ホームページでご覧いただけます。

清涼感があり、肌ざわりが非常に良く、お稽古着としてはもちろん、これからの季節、街着としても着用できます。



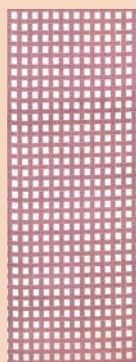
No.1 「破れ格子かつみ文様」
(縮100%)

1号柄
(白地に紺)
19,400円



No.2 「流れ柳かつみ文様」
(縮紬、縮100%)

2号柄
(紺地に白)
21,700円



No.3 「洗える夏きもの・粋ごのみのかつみ文様」
(ポリエステル100%・セオ)

3号柄
(クリーム地に桜色)
23,200円

※会員ページパスワード：bando100

■お稽古場紹介

掲載料／6000円(1年間)

掲載期間／年度末(3月末)まで

■お稽古場訪問

掲載料／5400円(1回)

掲載期間／約1カ月

新名取のご紹介

令和五年三月までの名取試験合格者です。

会員番号	芸名	本名	師匠
M-154	愛佳 <small>あいよし</small>	根岸美佳	愛
M-155	愛三弥 <small>あいみや</small>	日原恭子	愛
M-156	呂柎 <small>ろふう</small>	荒木西佳	呂扇
M-157	香寿琴 <small>かすこと</small>	有安由希	友女香寿
M-158	帆多瑠 <small>ほたる</small>	深江典子	玉帆
M-159	寛愛菜 <small>かんえな</small>	奈良橋綾菜	寛二郎
M-160	雪寿 <small>ゆきしほ</small>	榎本ゆき乃	寿京
M-161	慶寿 <small>けいしほ</small>	須山朝子	寿京
M-162	琴菊 <small>せんぎく</small>	佐藤麻琴	扇菊
M-163	扇結和 <small>せんむすわ</small>	岸本由美子	扇輔
M-164	映八 <small>えいはち</small>	吉田理佐	三津映
M-165	映七 <small>えいしち</small>	吉田七子	三津映
M-166	志寿峰 <small>しすみね</small>	大鐘智香子	三志代

師範名取のご紹介

令和五年三月までの師範試験合格者です。

会員番号	芸名	本名	師匠
10-714	八大 <small>やびろ</small>	小島清	直門
10-909	映莉加 <small>てるりか</small>	奥井莉良	加都映
M-119	蓮寿 <small>れんじゆ</small>	横川カレン	晃三洋

お悔やみ申し上げます

令和二年八月十七日	坂東勝真
令和三年	坂東妙静
令和三年七月十五日	坂東百喜久
令和三年八月二六日	坂東右輿
令和四年九月	坂東寿々菜恵
令和四年九月六日	坂東駒恵
令和四年十一月二日	坂東三根千寿
令和四年十一月五日	坂東三喜斎
令和四年十一月六日	坂東三奈栄美
令和四年十一月十九日	坂東征千代
令和四年十一月二七日	坂東雅也
令和五年一月十一日	坂東寿枝和
令和五年一月十五日	坂東勲次
令和五年一月二二日	坂東三登伯
令和五年二月二六日	坂東寿子
令和五年二月二二日	坂東鶴菜美
令和五年四月六日	坂東英照

坂東会

第一三九号

令和五年五月一日発行

編集発行人 坂東会広報部
発行所 坂東会事務所
〒101-0107
東京都千代田区内神田一丁目十八番十一号

☎03(3551)8210
FAX 03(3551)8210
E-mail: bandokai@crux.onn.ne.jp

第59回

坂東流たすけあい チャリティー舞踊会を 開催します

5月末日まで出演の申し込みを受け付けています。演目など、次号会報(11月号)にて詳細をお知らせします。

日程/12月5日(火)
会場/浅草公会堂

坂東流ホームページにて、
配信中!

動画

三津之丞を知る!

第一話 ~天才三津之丞先生編~ (後編)

第一話~天才三津之丞先生編~(前編)に続き、後編を動画配信中です。舞踊家、そして振付師として活躍なさった三津之丞お師匠さんのお人柄やエピソード、振り付けされた作品をご紹介します。
※会員ページパスワード: bando100

編集後記

第五十回坂東会総会を縮小せずに開催することができました。

劇場の制限も大きく緩和されて、皆さまの活動の場が広がるように準備を進めています。東・西ゆかた会、試験曲講習会、ビデオ上映会、チャリティー舞踊会、会員の舞踊会へどうぞ足をお運びくださいませ。
詳細は11ページをご覧ください。

(広報部委員)